

# 胚細胞性腫瘍 Germ cell tumors

---

## 1 胚細胞性腫瘍

良性胚細胞性腫瘍（成熟、未成熟奇形腫）

治療 外科手術

## 2 悪性胚細胞性腫瘍

(1) 精上皮腫

(2) 非上皮腫性胚細胞性腫瘍

絨毛腫、卵黄囊腫瘍、胎児性癌、混合性胚細胞腫瘍

治療 化学療法→外科手術→化学放射線療法

### Moran and Suster による縦隔胚細胞腫瘍の病期分類

I 期	よく被包化された腫瘍で、胸膜および心膜に癒着があってもよいが、顕微鏡的に周辺臓器への浸潤がないもの
II 期	腫瘍は縦隔にとどまるが、肉眼的あるいは顕微鏡的に周辺臓器(胸膜、心膜、大血管など)に浸潤が明らかなもの
III A期	胸腔内臓器(リンパ節、肺など)に転移があるもの
III B期	胸腔外臓器に転移があるもの

(Moran CA and Suster S. Cancer 80 : 681-690, 1997)

# 胚細胞性腫瘍の種類と腫瘍マーカー

	割合	AFP	HCG	CEA
精上皮腫	37.50%	—	+	—
胎児性がん	2%	++	+	—
がん奇形腫	14%	+	+	+
奇形腫	29%	—	—	—
卵黄嚢がん	12%	++++	—	+
絨毛がん	2.5%	—	++++	—